



DNW-21010 の概要

課題名 : 慢性蕁麻疹に対する新規治療薬の探索
主任研究者 (Principal Investigator) :
田中 智之 (学校法人京都薬科大学薬学部)
ステージ: 標的検証後期

【標的疾患】

慢性蕁麻疹

【創薬標的】

マスト細胞活性化に関わる標的分子 X

【創薬コンセプト】

マスト細胞の標的分子 X を阻害することにより、種々の原因物質により惹起されるマスト細胞の脱顆粒応答を抑制する経口投与可能な低分子治療薬

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 成熟マスト細胞の性質を反映する培養モデルを確立して解析を行った結果、マスト細胞の成熟に伴って標的分子 X 関連遺伝子群の発現が誘導された。
- 2) PI らが見出した標的分子 X を阻害する化合物群により、マスト細胞株の脱顆粒応答が抑制された。

【科学的、技術的な優位性】

PI は、マスト細胞の分化と機能との関係を主要なテーマとした研究の実績があり、創薬標的に関する生化学的な解析や成熟マスト細胞における機能解析などの面で研究の優位性がある。

【支援ステージにおける目標】

疾患モデル動物を用いて、本コンセプトによる治療に関するエビデンスを取得する。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。